

令和7年度近畿運輸局バリアフリー化推進功労者表彰

奨励賞
(連名受賞)

西日本旅客鉄道株式会社
(大阪府大阪市北区芝田二丁目4番24号)
大阪市高速電気軌道株式会社
(大阪市西区九条南1丁目12番62号)

受賞者の取り組み

2025年大阪・関西万博開催に向け、2社連携により弁天町駅の乗り換えをバリアフリー化

弁天町駅は、2025年の大阪・関西万博の来場者輸送におけるJR 大阪環状線とOsaka Metro 中央線との重要な交通結節点となる駅であり、バリアフリー機能の充実に向けた駅改良を実施し、2025年3月に供用開始した。

西日本旅客鉄道株式会社は、ホーム拡張や駅中央部の高架下に新たな駅舎および改札口を整備するとともに、各バリアフリー設備として、万博のアクセシビリティガイドラインに則った17人乗りエレベーターの整備を行ったほか、改札内の利用しやすい位置にバリアフリースイールの整備を行った。また、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用のうえ、可動式ホーム柵整備を実施した。

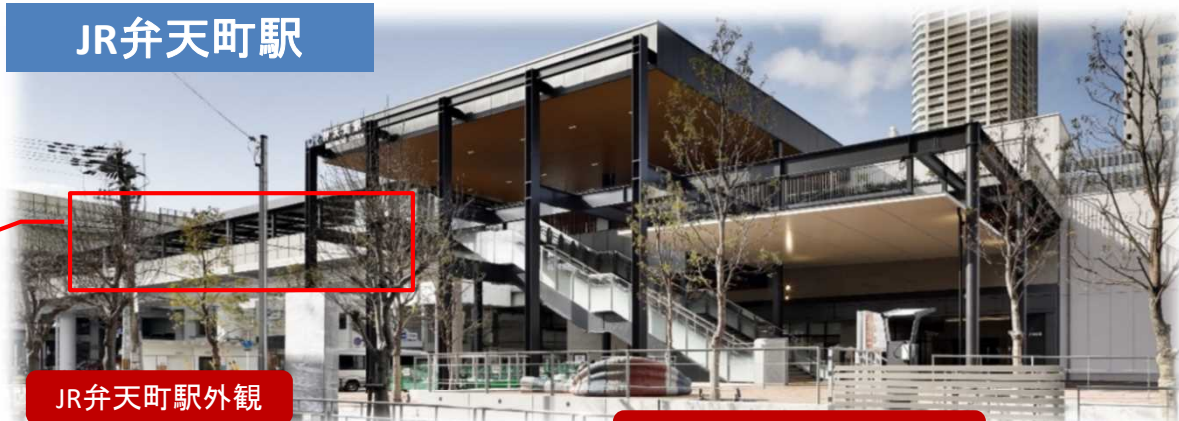
大阪市高速電気軌道株式会社は、改札階からホーム階へのアクセス階段を新設するとともに、改札内の有効スペースを拡張し、エレベーターを利用される際に余裕をもって待てる空間を確保した。さらに、計画的に取り組んできた可動式ホーム柵の設置及びホームと車両の段差・隙間を縮小する対策を完了させた。

これまでエレベーターを経由しなければアクセスできなかったJR 大阪環状線内回りホームからOsaka Metro 中央線東改札口の経路を同一階で直接つなぐ連絡通路を整備した。2社が密な連携を取り各管理者等との調整を図ることにより迅速に整備を実施し、万博開催までに供用が開始された結果、利用者の利便が向上した。

連絡通路



JR弁天町駅



JR弁天町駅外観

改札内バリアフリースイール



Osaka Metro弁天町駅



エレベーター前空間の拡張

可動式ホーム柵の設置推進

講評

2025年大阪・関西万博開催に向けて両社がタッグを組み、ホーム・エレベーターなど個別の整備にとどまらず、同一階で直接つながる連絡通路を整備するなど、困難な相互調整を経て駅のアクセシビリティ向上を達成した点は評価できる。

今後は、利用者意見も一層取り入れながら駅設備を整備し、バリアフリー化を更に推進することに期待したい。